

無題

あの日

たくさんの悲しみを背負ったあなたに
10年経ってもまだ
かける言葉が見つからない
あなたのいのちに
不用意に触れてしまわないかと
怖いのです

あなたが

かつて教えてくれた詩人たちに
私は再び
出会っています
彼らのことばが
今もあなたを
照らしていることを信じて
震える声で
読んでいます